



医療法人幸生会

琵琶湖中央リハビリテーション病院

Biwako Central Rehabilitation Hospital

- 日本医療機能評価機構・リハビリテーション(回復期)高度・専門機能認定病院
- 日本リハビリテーション医学会認定研修施設

地域とともにつなぎあい  
患者とともに歩む医療

# 病院だより

第162号  
2024/7/15

## うちの病院PR・地域の皆さんにお伝えしたいこと ～ 看護部編 ～

### 【看護の日】



5月12日は近代看護教育の礎として有名なフローレンス・ナイチンゲールが誕生した日であり、「看護の日」と呼ばれています。当院では毎年看護の日に因んでイベントを開催し、今年は5月14日に通所リハビリの利用者さんを対象にフットケアと音楽会を行いました。「看護の日」は、看護の大切さを振り返る日でもあります。

さて、みなさん、手には「癒しの気」があるのはご存知でしょうか。

お腹が痛い時はお腹に手を、歯が痛い時は頬に手を、頭が痛い時は頭に手を無意識に当てていませんか？私は、幼い頃から手から何か「気」が出ているのではないかと感じていました。ですので、いつも体に触れるときは、「良くなれ！」「痛みがなくなれ！」と思いながら触るようにしていました。看護師になってからも同じように患者さんの体に触れ、その日の状態を感じたり、痛い所をさするようにしていました。

ある日先輩から、看護師は五感を使い、患者さんの体温、匂い、表情、訴えを感じ、看護をすること。そして体に触れることで癒しを与えること。それが「手当て」なんだと教えてもらい、やはり手には「癒しの

気」があると確信しました。

看護の日にフットケアを行ったのは、日々頑張っている足を、看護師の手で癒すことができたらと思ったからです。「気持ち良かったわ」「軽くなりました」「話を聞いてくれて嬉しかったわ」という声を聞き、感動しました。音楽会では、当院の職員によるギターとピアノ演奏で懐かしい曲の演奏でした。

みなさんと大きな声と一緒に歌うことができ、職員一同楽しい時間を過ごすことができました。

これもひとえに、スタッフ一丸となった賜だと心より感謝します。

今後も、スタッフ一同、力を合わせチームワークの絆を深めながらより良い看護ケアができるように努めてまいります。

皆さん、本当にありがとうございました。

看護師 野村 利早子



## 当院と滋賀県立総合病院（旧成人病センター）は 「連携と協力に係る基本協定」を締結いたしました

5月30日、当院研修センターに於いて滋賀県立総合病院（旧成人病センター）との連携協定を坂口理事長立ち合いのもと、足立滋賀県立総合病院総長と当院大野院長の両者が、協定書に署名され、協定締結の運びとなりました。

この協定は、地域における医療提供体制の充実を図り、地域住民に、将来に渡り安全・安心で質の高い医療を安定的に提供するため、緊密に連携、および協力することを目的としており、具体的には以下4項を基本としております。

- (1) 相互の医療機能および資源を活用した診療の連携に関する事
- (2) 職員の資質向上のための研修の協力に関する事
- (3) 両病院間における患者の円滑な転院等に関する事
- (4) その他、両病院の診療機能の充実に関する事

ご承知のように、少子高齢化の進行、医療ニーズの高度専門化、また、働き方改革といった情勢の変化、更に医師の地域偏在化等により、広域的な医療サービスの提供といった諸課題への対応が急務となってきております。

滋賀県立総合病院には大規模県立病院として滋賀県全域で高度医療の提供をなされ、また、当院は県下唯一の医療機能評価機構・リハビリテーション高度専門機能認定病院であります。双方のこの特色を活かすべくシームレスな医療提供体制構築には本協定が最も有効な手立てであるとの共通認識のもと、協議を重ね締結致しました。

今後、更に双方の病院連携と、地域の皆さんが安心して暮らせる医療提供体制に貢献できるよう努めてまいりたいと考えております。

事務部長 中野良文





# 園芸プロジェクト

みんなでワイワイ

## ☆畑の植え替え☆

寒い季節から徐々に暖くなり春の陽気となってきた、5月初旬、入院患者さんと屋上の畑の植え替え(サツマイモ、スイカ、ピーマン、トウモロコシ、キュウリ)を行いました。

参加希望をしてくださった患者さんには、もともと畑をされていた方が多く、その方たちを中心に初めて畑作業を体験される方も一緒に作業をしていただきました。

患者さんからは「入院中に畑ができるなんて嬉しい。成長が楽しみ」「ケガしたけどできるもんやな」といったような言葉をたくさんいただきました。

他にも「リハビリはしんどいから・・・」とリハビリに対して消極的だった患者さんからも「明日も水やりも行かなきゃ。愛情をもって面倒をみないといけない」といった今後のリハビリの意欲向上につながるような前向きな言葉を聞くことができました。

普段のリハビリよりももっと病前生活や慣れ親しんだ実際の作業を行い、自発的に作業をしていくことで活力の源になる可能性を感じました。

皆さん笑顔で取り組み、そのうち患者さんの方から私たちにアドバイスをくださる素敵な場面もありました。

今後もいただいたアドバイスを生かしてよりよい園芸活動を行っていきたいと思います。

作業療法士 安井 和輝



## 出前講座

# お茶の間教室「はつらつサロン」

◎いきいき健康教室開催しました◎

## 【笑って！学んで！楽しみながらの介護予防】

毎年恒例、当院で開催のいきいき健康教室の時期がやってきました。通算20回目となった今回の健康教室は「笑って！学んで！楽しみながらの介護予防」と題して、毎回恒例、お家でできるタオル体操・楽しみながらの認知症予防体操の他に、前回ご好評をいただいた、カルタで覚える三大栄養素の再登場や、満を持して今回からお目見えのポッチャ大会を開催しました。予定参加人数を大幅に上まわる方々にご参加いただき、熱気あふれる会となりました。

今回は、はがきでのお声かけ、外来、各地域サロン団体、自治体など計7団体の皆様のご参加を頂きました。膳所ばかりでなく、富士見台や湖南台からもご参加いただき、随分とこの



教室も広がりを見せてきたことを実感します。開催中は夢中で皆さんと楽しんでいたのですが、後で写真を振り返ってみると、別の団体の方向士が肩を並べてポッチャやお手玉を楽しめる姿が見られ、地域の横のつながり(地域力の向上)と地域住民主体の門戸の広い講座へと皆さんに育てて頂いていることに感謝ひとしおです。ご参加いただきました皆さん、楽しい時間を有難うございました。



← ワイワイ賑やかにポッチャ大会



→ 栄養素カルタの前は人だかりです

- 理学療法士 本田 圭吾
- 作業療法士 岡崎 匠真
- 管理栄養士 川戸 菜緒
- 管理栄養士 林 正悟
- 事務 神戸 辰哉
- 社会福祉士 上嶋 美由紀

### 【病院理念】

慈(めぐみ)の源“マザーレイク”のように、私たちは地域の皆さまの心と体のよりどころとなるよう努めます。

### 【基本方針】

1. すべての職種が協働し、生活を支えるリハビリテーションの実践に最善をつくします。
2. 患者の意思を尊重し、科学的根拠と倫理観に基づき、安全と安心の医療を提供します。
3. 医療・介護・福祉連携を推進し、地域包括ケアシステムの推進に貢献します。
4. すべての職種のたゆまぬ研鑽により、質の高いチーム医療をめざします。
5. 人材の育成に努めるとともに、職員が働きがいと充実感の持てる職場づくりをめざします。